

令和6年度防府市生涯学習推進会議 会議要旨

- 1 開催日時 令和6年5月30日（木）午前10時から
- 2 開催場所 笑顔満開通り ルルサス文化センター 交流室1
- 3 出席委員 13人 ※欠席委員は3人（弘中委員、島田委員、沢田委員）
- 4 次 第
 - (1) 開会
 - (2) 教育長 あいさつ
 - (3) 委員長 あいさつ
 - (4) 議題 ※以下、要旨。表現は簡略化しています。

ア 第3次防府市生涯学習推進計画 令和5年度事業の実施状況及び評価について

(委員長)

まずは事務局から説明をお願いします。

(事務局)

第3次防府市生涯学習推進計画 令和5年度事業の実施状況について説明。

(委員長)

何か御意見等があればお願いしたい。

(A委員)

資料2について、いくつか意見をお伝えする。

まず、事業費について、事業費の記載有無の基準があれば確認したい。また、項目No7の地域及び子育て家庭を対象とした講習等について、事業費が他事業と比べて高額だが、どういった事業内容かももう少し詳細に記載してほしい。

次に、項目No60及び34p「目標指標」の文化財郷土資料館入館者数について、目標と実績の差が大きい。目標指標に近づくよう、工夫が必要ではないか。

次に、項目No78の放課後子ども教室への学生の参加の促進について、平日の活動のため、高校生よりも大学生の方が参加の可能性が高いと思うので、大学生の参加を検討してほしい。

最後に、項目No91の放課後子ども教室のサポーターについて、高齢化が進んでおり、持続可能な運営のためにも、若い方が少しでも増えるよう、工夫が必要だと思う。

(事務局)

事業費及び項目No7について、来年度各課へ照会の際に注意したい。

項目No60及び「目標指標」について、文化財郷土資料館は防府市青少年科学館ソラールと連携したイベントを行っている。文化振興課に対策を依頼するとともに、引き続き連携を行う等、入館者数の増加に努めたい。

項目No78について、今後、放課後子ども教室への大学生の参加を検討したい。

項目No91について、今後、若い方の参加を促すような方法を検討したい。

(B委員)

項目No60及び34p「目標指標」について、文化財郷土資料館は、今後新庁舎の建設に伴い、施設や駐車場の改修等が行われるはず。そうなれば、入館者数についても改善されていくのでは。

(C委員)

項目No78の放課後子ども教室への学生の参加について、参考としてお伝えする。

今年度から松崎小学校と観光振興課、市民活動支援センターが連携し、周南公立大学と山口学芸大学の学生を月一回招き、子どもたちと一緒に防府の好きなところを自分たちで紹介できるようになることを目標とした授業を行っている。市民活動支援センターと連携し、学生の呼び込みを行ってはどうか。

また、近年不登校の子どもたちも問題になっているが、放課後に限らず、お昼時間を活用する等、地域の方と協力して不安のある保護者の方に学校に入ってもらえるような取り組みができると良い。

イ 第3次防府市生涯学習推進計画 令和5年度事業の取組について

(委員長)

まずは事務局から説明をお願いします。

(事務局)

第3次防府市生涯学習推進計画 令和5年度事業の取組について説明。

(委員長)

何か御意見等があればお願いしたい。

(C委員)

二十歳のつどいについて、住民票を防府市から移した人の参加方法の周知を徹底してほしい。

(事務局)

住民票が防府市にない方の参加方法等については、毎年10月以降に市広報やホームページでお知らせしている。今後は市広報やホームページだけでなく、SNS等も活用し、周知を徹底していきたい。

(B委員)

ソラールの科学コンテストについて、県内唯一の科学館として、このように力を入れた企画を行うことは大変良いことだと思う。

ウ 第4次防府市生涯学習推進計画の策定について

(委員長)

まずは事務局から説明をお願いします。

(事務局)

第4次防府市生涯学習推進計画の策定について説明。

(委員長)

何か御意見等があればお願いしたい。

(D委員)

アンケートについて、項目が多いのではないかと。選択肢は多くても10項目に集約してはどうか。

(C委員)

アンケートの間9については、関係機関でも同様の調査を行っており、項目が関連しているため、項目数等を変更しないほうがよいのではないかと。

(A委員)

文章全体の文字数を減らす工夫ができるのではないか。例えば、問9の設問「～どのような学習課題が大切だと思いますか。」を「～どのような学習課題に関することが大切だと思いますか。」とすることで、選択肢の末尾の「に関すること」という文言を省くことができる。問13も同様に、「～どんな施設であることを期待しますか。」を「～どういう目的のための施設であることを期待しますか。」とすることで、選択肢の末尾の「～ための施設」といった文言を省くことができる。

(委員長)

項目数や文字数について、他機関との関連も考慮しながら、事務局には再度検討をお願いしたい。

(事務局)

承知した。修正した際には、委員の皆さんに再度確認を依頼する。

(5) 教育部次長 あいさつ

(6) 閉会